

中 岳



新執行部誕生

平成14年度社団法人熊本市歯科医師会総会



熊本市歯科医師会会誌

第121号

目

次

巻頭言	古賀 明 会長	1
新執行部誕生、役員挨拶		2
平成15年度社団法人熊本市歯科医師会臨時代議員会		6
平成14年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会		8
平成14年度社団法人熊本市歯科医師会代議員会		10
平成14年度熊本市地域歯科治療病診連携推進研修会		12
国立熊本病院と熊本市歯科医師会との協議会		17
天草パールラインマラソン		17
歯科からみた熊本市保健福祉行政の現状		18
Study		20
「臨床記録の保存と活用」	牛島 隆	
新人です よろしくお願ひします		24
スポーツの広場		25
総会資料		26
会務報告		37
編集後記		

—表紙のことば—

「アップ、アップ、アンド アウェイ」

スカイフェスティバル イン小島にて。浜風が年中吹いているのでグライダーには最適です。この日は抽選で体験飛行ができるとのこと。風切り音の中で滑空する姿は優雅なものです。古賀執行部も、このグライダーのように上昇気流に乗っていくことを期待しています。

巻 頭 言

「元気で信頼される 歯科医師、歯科医師会へ」



古賀 明会長

4月に入るや県議会議員、市議会議員選挙と続き慌ただしい毎日となっておりますが、熊本市歯科医師会にとっても新執行部のスタートの月となりました。さる3月に行われました通常総会に於いて、会長、監事の立候補者定数と言う事で私が会長、岡田知久、柿原訓両先生が監事に選出されました。私にとっては身に余る光栄であると同時に、対内対外の関係機関の方々とお会いする度に責任の重さを痛感している所です。昭和52年に開業して20数年ずっと本会並びに県歯の色々な委員、理事を務め、又新樹会、同窓会、支部会等の役員を経て今日に至っております。この間数多くの先生方と知り合い、歯科医師として、人間としてお教え頂き又育てて頂き本当に感謝致しております。この度は私がそれに対し恩返しをする年齢になったんだな、と私なりにとらえております。

さて私の3年間の執行に關しての基本的な考えは、歯科医師会とは一握りの会員の会ではなく、330名全員の会であるという事であり、様々なご意見、お考えを平等に聞き、会務執行に反映し努力して行きたいと考えております。そして「元氣ある」「信頼の得られる」歯科医師、診療所、歯科医師会の実現に向けて、会員の皆様と共に頑張って、この厳しい社会状況の中、光明を見出したいと思ひます。

県歯並びに各郡市歯科医師会とは現在の友好的かつ協力的関係を推し進める考えであるし、各郡市の地域歯科保健事業等に関しては本会も参考にすべき事業もあるので、積極的に協議したい考えです。

熊本市(行政)とも今まで培われた信頼関係を十分に保ち、熊本市歯科保健推進協議会を基本にして協力関係を推進するつもりです。その中で就学時までの歯科医療費無料化は、要望し続け、在宅健診事業、長寿の里歯科診療所事業の見直しを図りたいと思ひます。介護保険に対しての歯科の取り組みに關しても再考の余地は充分可能ではないかと考えております。又日曜祭日の夜間当番についても、当番医の数を増やしたいし、歯科衛生士も含めたいと考えております。

医療専門団体連合会との関係は熊本市民、県民の健康の維持増進の為に各種活動に關し、積極的に参加し貢献するつもりです。

後方支援病院に關しても、より一層の病診連携を行い、会員の先生方が安心して日々診療できるシステムを今まで以上に構築します。又代診制度も現在の県外からの代診制度ではなく県内で対応出来ないか。そうすれば交通費宿泊費等のコスト削減が見込まれるので見直しを計るべきと考えております。

最後に、新執行部は開かれた歯科医師会を作りたいと考えています。今回は学校歯科、広報委員会に女性の委員が登場致しました。どうか会員の先生方には新執行部を暖かく見守り、ご指導頂き、育てて頂きますよう重ねてお願い申し上げまして就任の挨拶と致します。

新執行部誕生！

役員挨拶



会 長	古 賀	明	理 事	学校歯科	澤 木	孝 明
副 会 長	合 澤	康 生	〃	広 報	古 川	猛 士
〃	藤 波	好 文	〃	公衆衛生	与 儀	実 彦
専務理事	矢 毛 石	豊	〃	医療管理	田 中	弥 興
常務理事 (会計)	蔵 田	幸 一	〃	学 術	渡 辺	猛 士
〃 (庶務)	清 村	正 弥	監 事	〃	岡 田	知 久
理 事	厚 生	中 川	〃	〃	柿 原	訓
〃	社 保	稲 葉	逸 郎			

合澤 康生 副会長 新人のつもりで頑張る所存



このたび、熊本市歯科医師会副会長を仰せつかり、今更ながらその責務の重要さにとまどっています。自分自身、副会長という役職に適しているとは、決して思っていないが、わからない所は教えてもらい、お互い協力し合っていけば任務をはたしていけるのではないかと思います。

熊本市歯科医師会は早くから、在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業に取り組み、全国のお手本となる存在です。行政との委託事業も増え、当然諸会議も多くなって来ます。そういった複雑化、多様化してくる対外的諸問題に対して、会長1人、副会長1人では対応が激務になって来る恐れがあると、今回、古賀新会長の提案で副会長が2人になったと聞きます。学校歯科保健、公衆衛生諸問題に対して手伝ってくれといわれ、少しでも会長の補佐として、会長の任務を軽減出来る様役立てればと思います。

県歯科医師会でも患者増につながる事について歯科医師会では何が出来るか、という事についてこの3年間、月1回だった理事会を2回にして、1回をこの討議に当てられて来ました。市歯科医師会でも古賀会長の提案で各委員会が集まる時に必ず患者増につながる事業、方法について討議する様提案されています。患者増という事については最終的には個人の問題ですが、会として団体としてしか出来ない事もあるかと思います。現在の置かれている歯科医師会の立場を守りながら、各々が会としての任務を全うする事も患者増につながる事ではないかとも思います。私、個人的には学校歯科保健に携わってきました。学校歯科保健もその中身を分配すれば、患者増につながる最もわかり易い事業ではないかと思っています。

この3年間、新人のつもりで頑張る所存です。よろしくお願い致します。

藤波 好文 副会長 一生懸命誠実に



仕事の重要性、責務の重大な役職に指名され、青天の霹靂であり、大変な事と身の引き締まる思いです。少子高齢化、有病者の増加、医療の高度化で医療保険財政の窮迫と医療改革が叫ばれています。更に歯科では需給のアンバランスもあり、かつてない変革の時代を迎えています。パソコン、携帯電話がアツという間に普及しつくしたのを見ますと、患者ニーズの変化、医療を取り巻く環境変化に乗り遅れない様に努め、種々の情報を把握し、伝える必要があると思います。

政治では既得権益にすぎる圧力団体が排除され関心が薄くなっています。医療改革は財政が目標とされ、過度の競争と利潤の追求が目につきます。しかし、医療は健康で生活の質を高めることで社会コストの低下を防ぐ予防の投資であることを認めてもらうためにも政治、行政との関わりは必要で重要です。

世界に誇れる健康を達成した今、医療の理念、方針、特長を各自が持ち、良質の歯科医療を提供し、地域の人の健康長寿に貢献できる尚一層充実した体制を整える様頑張っています。

一生懸命誠実に仕事をする事しかないと思っていますので、先生方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

矢毛石 豊 専務理事 新執行部一丸となって

本年度より古賀明先生の後任として専務理事に選任され、身にあまる光栄と思っています。しかし古賀前専務の立派な会務執行を目のあたりにしてまいりましたが、果たして私に出来るものかと不安が先立っています。本年は新しく4名の先生方が役員に就任され、また2名の女性会員の方を委員会に迎える事が出来、今迄とはまた多少とも変わった観点から会の運営にあたる事が出来るのではと思っています。

しかしながら医療界をとりまく環境は年々きびしいものとなってきております。どれを取っても今後ますますきびしくなっていく現状だと思いますが、私達は希望と歯科医師としての誇りをもち、地域に根ざした真の医療を市民に与えねばならないと思います。

目前にかかえている諸々の問題に取り組み、会長、副会長を補佐し、総括的視野に立ち会員皆様方の意見を拝聴し、新執行部一丸となって努力していく所存です。皆様のご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



蔵田 幸一 常務理事(会計担当) 会員の為になるような会計を

この度、古賀会長より会計常務を仰せつかり責任の重さを痛感しております。会計には全くと言っていいほど縁のない私に、果たして務まるかどうか心配ですが任された以上しっかり勉強して頑張る所存しております。本会会計は数年前に一本化されており、それ以前に比べると非常に見やすく又、わかりやすく処理されていると言われますが、何分初めての私にとっては何がなんだかという感じでした。1日も早く内容を把握し、会員の皆様の為になるような会計処理を行って参りたいと存じておりますのでよろしく御指導の程お願い申し上げます。



清村 正弥 常務理事(庶務担当) 現況を把握して

何の因果かこの度、常務理事の大任を仰せつかりました。前期は1期かぎりの約束で学術担当理事を受けたのですが、3年間の年季奉公明けには何故かこうなっていました…。

いつも素直にハイ、と言わないので、その懲らしめなのでしょう。とはいえ、せっかく大役を引き受けましたので、精一杯会員の皆様のお役立てるよう諸事に取り組むつもりでおります。

歯科界のみならず、日本全体が変調をきたし、過去の成功体験や経験則が役に立たない状況が目立ちます。本会の運営も現況をよく把握することが先ず必要だという認識に立って会務に励みたいと思っています。





中川 順一 厚生担当理事 コミュニケーションがとれるパーティー作りを

この度、厚生委員会の理事を拝命いたしました。

この委員会の大きな活動として新春懇親パーティーと7月の親睦活動のビアパーティーがあります。近年、このパーティーへの参加者が少なくなってきました。特に若い先生方や新入会員の先生方の参加が少ないような気がします。パーティーに出席しない理由も分からないでもありませんが、出席することは公私にわたっていろいろなメリットや意味がある事なのです。紙面の都合で詳しくは説明出来ませんが、今、我々を取り巻く環境は年々厳しさを増して来ています。この状況を少しでも改善するには大きな力が必要です。個人個人で声の届かない所で不満を並べたりしてもなにもなりません。まずは出席してみてください。いろんな先生方と話をすれば新しい事も聞けるかも知れません。我々も教えて頂くこともあるでしょう。そんなコミュニケーションがとれるパーティー作りをしていきたいと思ひます。何か妙案の有る先生は教えて下さい。とにかく、3年間、厚生委員会の先生方の助けを借りて頑張っていきたいと思ひますので宜しくお願いします。

稲葉 逸郎 社保担当理事 身近な相談窓口として

今回古賀会長の委嘱により、3期目ではありますが、社保の担当理事を務めさせていただきます。委員9年理事6年の15年間先輩の先生方に指導を受け、やっと熊本市の会員の先生方に認められるような社保委員会活動が行えるようになってきました。

現在のいろいろな規制のもとでの保険診療の難しさや、患者さんへのカルテ開示等の問題に対しても、安心して診療できるよう努力、勉強していきたいと思ひます。カルテ記載及びレセプト請求に関しても会員の先生方の身近な相談窓口として活動していきたいと考えています。



澤木 孝明 学校歯科担当理事 次世代を担う子供たちのために

引き続き2期目の学校歯科委員会を担当することになりましたので、宜しくご指導、ご協力をお願いします。

熊本市歯科医師会では、昭和47年度より熊本市の小学校を対象に歯磨き巡回指導をしています。平成12年度より熊本県歯科衛生士会の協力のもと、熊本自前の指導グループを立ち上げ、平成13年度からは集団指導よりクラス単位、個人指導に変更いたしました。日頃、学校歯科医の先生方にはお世話になりありがとうございます。さらに小学校の先生方、熊本市学校保健会、行政(熊本市健康教育課)には大変御協力を頂いております。3者の更なる御協力を頂き、この歯磨き巡回指導を充実、発展させていきたいと思ひます。

次世代を担う子供たちが心身ともに一生涯に渡って健康でありますよう、祈願して行事を進めたいと思っております。

時節柄、政治、経済、教育、医療界は混乱の極みであります、委員会の先生方とともに頑張っていきたいと思ひます。

古川 猛士 広報担当理事 なじみやすい紙面をつくりたい

広報委員会もヒラの委員からかぞえて10年目となります。そのわりには一向に進歩のない紙面とお叱りをうけそうですが、前期3年間は自分も何をやりたいのかわからないままスケジュールに追われていったような気がします。今期は余裕をもってなじみやすい紙面となるよう心がけたいと思ひます。



与儀 実彦 公衆衛生担当理事 活動を通して受診率アップを

当委員会の理事に就任しまして、3期目になりますが、このような事業の進め方で会員の為になっているのか、特に受診率アップという意味においてこれで良いのか、自問自答しております。

熊本市民に対する健診としましては、市役所ロビーでの無料健診がなくなり、熊本市子ども文化会館での無料健診を年6回程始めました。子ども文化会館でのこの事業は評判が良く、小さい子供さん達が多く健診に来られます。

今期はこれらの事業を確実に実行して、なるべくなら受診率アップにつながって行けば良いと思っております。

また、地域歯科保健活動においても、歯科の重要性、予防の大切さを力説し、熊本市民の方々でまだ歯科医院に来られてない人に対してこれらの啓発ができればと考えております。



田中 弥興 医療管理担当理事 医院経営に役立つように



平成不況、歯科医師過剰、老人保健1割負担、社会保険本人3割負担等、我々を取りまく経営環境はこれまでになく厳しく底冷えの感があります。このような中で、今回、医療管理担当理事を務めさせて頂くことになり身の引き締まる思いです。振り返ってみますと、前期3年間を除き12年間歯科医師会入会以来この委員会で諸先輩のもといろいろな勉強をさせて頂いてきたように思います。今このような状況の中でどのようなことをすればいいのかを再度基本から見つめ直し、労務管理、税務対策等、委員会の仕事内で経営効率を高めるような項目を探しながら委員の先生たちとともに考え、実行していきたいと思っております。皆様の医院経営にお役に立てるように3年間頑張っていきます。どうぞご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

渡辺 猛士 学術担当理事 常に新鮮な情報を

このたび古賀会長のもとで学術担当をさせていただくことになりました渡辺です。

今期は会員の皆様にとって実際にメリットとなるようなホームページの充実、歯科に対する多様化したニーズに即応できる情報の発信、他委員会との効率的な連携等を目標として業務を展開していきたいと考えております。歯科を取り巻く環境が厳しくなる中、来院された患者さんの希望を的確に理解判断し、それに対して自院のスタンスを的確にし、さらに考えられる選択肢を提示解説できることが健全な歯科医療を守っていく第一歩であると考えております。どれだけお役に立てるかわかりませんが、常に新鮮な情報をお伝えしていきたいと考えております。私自身、委員会在籍期間は長いものの、今までほとんど手仕事を担当していましたので難しいことはあまり知りませんが、幸運にも優秀な委員のメンバーに手伝っていただけることになりましたので力を合わせて何とか会員のみなさまのお叱りを受けないよう頑張っていくつもりです。何とぞよろしくお願い申し上げます。



岡田 知久 監事

熊本市歯科医師会の会務並びに会計が事業計画に基づいて正確に実施され執行される様に監事として役目を務め、会員の為に側面から協力して行きたいと思っております。



柿原 訓 監事

熊本市歯科医師会の財産の状況並びに運営管理全般について行い、正確に把握、検討し公正不偏の態度を持って過誤を防止するように努力する所存でございます。



新執行部人事確定

－平成 15 年度熊本市歯科医師会臨時代議員会－

4月24日(木)県歯会館3階ホールにて表記のとおり行われた。議事では市歯科医師会執行部人事及び補正予算等の6議案が、協議では支部連絡網の効率化等が討議された。



1. 点呼 清村正弥常務理事
2. 仮議長選出
3. 議長及び副議長選出
議長 元島博信先生
副議長 寺本豊徳先生
4. 開会
5. 議事録署名人選出
原田教二先生(東部1)
鬼塚啓史先生(西部)
6. 会長挨拶

新年度の臨時代議員会です。本日は新しい人事、及び補正予算を審議していただきます。会長就任にあたり、会員にとってよりよい選択はなにかということを念頭において会務を執行していきたいと考えています。

代議員の先生方は各支部の代表です。会員と会との潤滑油となっただき、新執行部へどしどし意見を述べてもらいたいと思ってます。私の所信については中岳の巻頭言で述べてますが、歯科医師会というものは一部の先生のものではなく、330名全会員によりなりたっているものであることをいつも考えていきたいということを強調しておきます。

受診率向上、指導への対応のさらなる充実、各

種委託事業の見直し、特に熊本市行政の委託事業が縮小傾向にあるので、市行政と協議し継続するようはかっていくつもりです。又、支部の活性化をはかるため、今まで以上に支部会を開いてもらうようにお願いします。3年間初心を忘れず会務を執行していくつもりです。よろしく御協力をたまわりたいと存じます。

7. 報告 矢毛石豊専務理事
・県歯代議員、予備代議員・連盟評議員、予備評議員・国保組合会議員の人事報告がなされた。
8. 議事
第1号議案 理事の承認を求むる件 承認
第2号議案 熊本市歯科医師会補正予算の承認を求むる件 承認
第3号議案 裁定審議会委員の承認を求む



- る件 承認
 第4号議案 選挙管理委員会委員、同予備委員の承認を求むる件 承認
 第5号議案 医道委員会委員の承認を求むる件 承認
 第6号議案 顧問の承認を求むる件 承認

9. 協議

(1) 支部連絡網について

- ・連絡網に関して、Fネット等で市歯から一括FAX送付はできないものか?(小島支部)
- ・東部4支部では、支部内でFネットを導入している。(東部4支部)
- ・同じく東部1支部でも導入している。(東部



1支部)

・いろいろな意見が出たので、それを参考に執行部で検討していきたい。(矢毛石専務)

(2) その他

- ・支部分担金の振り込みの件で、各支部会計担当の先生は入金確認の連絡をお願いします。
- ・今年度より「母と子のよい菌のコンクール」を、名称変更し、「親子のよい菌のコンクール」とした。
- ・6月8日(日)に行う第3回上通りイベントへのご参加をよろしくお願いします。
- ・医道委員会(旧資格審議会)への、各支部長の出席をひきつづきお願いします。

10. 閉会 合澤康生副会長

熊本市歯科医師会委員会名簿

厚生委員会

- ◎中川 順一
- 有田 俊昭
- △瀬井 知己
- 御任 弘玄
- 松田 恵
- 前田 邦治
- 嶋田 英敏

社保委員会

- ◎稲葉 逸郎
- 渡辺 洋
- △金本 良久
- 宇治 保義
- 加藤 久雄
- 井口 泰治

学校歯科委員会

- ◎澤木 孝明
- 前田 明浩
- △井手 裕二
- 吉崎 久次
- 福本 聡子
- 清水 睦博
- 齋木 智章
- 西 正浩

広報委員会

- ◎古川 猛士
- 廣田 達也
- △前川 研二
- 船津 雅彦
- 鬼木 泰久
- 田中 浩一
- 高木 雅子

公衆衛生委員会

- ◎与儀 実彦
- 斉藤 忠継
- △杉野 弘武
- 山部耕一郎
- 川口 孝
- 二宮 康郎
- 松岡 弘毅
- 井野 健

医療管理委員会

- ◎田中 弥興
- 尾上 宏
- △清川 恵治
- 宮本 格尚
- 金本 和久
- 徳丸 恵介
- 有働 秀一

学術委員会

- ◎渡辺 猛士
- 山部 英則
- △坂口 貴章
- 小野 秀樹
- 高松 尚史
- 堀田 浩史
- 大塚 昭彦

長寿の里検討会

- 矢毛石 豊
- 蔵田 幸一
- 清村 正弥

※◎印は担当理事

○印は委員長

△印は副委員長

平成14年度 社団法人熊本市歯科医師会通常総会

全議案を可決承認

平成14年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会が3月15日(土)午後3時30分より県歯会館3Fホールにて開催されました。次期会長古賀明先生、監事岡田知久、柿原訓両先生に当選証書が手渡された。



1. 開会
2. 議長及び副議長選出
議長 林 正之先生
副議長 木村義浩先生
3. 議事録署名人選出
田中 宏先生 合沢康生先生
4. 物故会員に対する黙祷
5. 会長挨拶

昨年暮れに厚生労働大臣表彰を受けたことは、大変喜ばしく、意義のあることでした。平成3年から在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業を始めて10年を経過しました。次年度もこの事業は継続されていくことと思います。関係各位に感謝を申し上げます。

長年の懸案でありました定款見直しも、当初は1年の予定でありましたが、大幅な見直しとなり、6年かけて昨年12月に熊本県知事の認可を得て正式に完成しました。

受診促進については、委員会での協議を進めてきたところであります。市行政との連携、健康



〈要旨〉

当初の予算案通り、平成14年度の事業が、どこおりなく執行されて、会員の先生方に感謝申し上げます。



くまもと21、歯科保健推進協議会で年齢に則した歯科保健の推進をはかるための協議をつづけてきました。現在4歳児までの医療費補助を6歳児(就学前)まで延長する要望を市へ出しているところです。また病診連携にも力をそそいできました。より専門化した分野への医療サービスのためにも病診連携をより発展させることが必要です。

本日は平成13年度の決算、15年度の予算案等の議題を審議していただきます。

私事ですが、本年度をもって会長職を辞することになりました。在任中の会員の先生方のご協力に心より感謝申し上げます。6年間、会員の先生方、役員の先生方の深い配慮でやってることができました。次期執行部もよろしくお願いします。

6. 来賓挨拶

堤直文 県歯会長

7. 報告

- 1) 会務報告 古賀明 専務理事
- 2) 庶務報告 蔵田幸一 常務理事
- 3) 会計現況報告 矢毛石豊 常務理事
- 4) 監査報告 本田 亘 監事

8. 代議員会審議経過報告

藤波剛 代議員会議長



9. 議事

第1号議案 熊本市歯科医師会会長・監事



選挙に関する件

第2号議案 役員報酬及び旅費改正の承認を求むる件(案)

第3号議案 平成15年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件

第4号議案 平成15年度熊本市歯科医師会一般会計予算案の承認を求むる件

第5号議案 平成15年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案の承認を求むる件

第6号議案 平成15年度熊本市歯科医師会共済会計予算案の承認を求むる件

第7号議案 平成15年度熊本市歯科医師会退職積立金会計予算案の承認を求むる件

第8号議案 平成15年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件

第9号議案 借入金の限度額の承認を求むる件(案)

第10号議案 退会会員の会費及び負担金の未納金欠損処分承認を求むる件

第11号議案 本会会費未納者の取り扱いに関する件



10. 協議

1. その他

県歯吉田公典専務理事よりスポットCMの案内があった(KKT、3月5日～25日)

11. 閉会

菅原洋 副会長

(広報 前川研二)

平成14年度 社団法人熊本市歯科医師会代議員会

3月15日、午後2時から県歯会館3階ホールに於いて平成14年度代議員会が開催され、全議案、可決承認されました。



1. 点呼
2. 開会
3. 議長及び副議長選出
議長 藤波 剛先生
副議長 元島博信先生
4. 議事録署名人選出
松本一之代議員(東部2)
中川順一代議員(西部)
5. 物故会員に対する黙祷
6. 会長挨拶
〈要旨〉

本年度の事業も各会計の予算に則り、とどおりなく終了しようとしています。厚生労働大臣表彰を受けたことは大変名誉なことです。聖域なき構造改革に伴い、歯科医療界も多くの痛みをとまっています。受診率向上へ向けて検討を重ねてきた結果も、新定款と共に年度内に会員の先生方へ配布できるはこびとなりました。

健康くまもと21や、熊本地域保健医療推進協

議会などを通じての市行政との連携や、国立熊本病院との協議会などの一連の病診連携を推し進めてきたところであります。これらが市民に反映され、受診率向上につながるものと思っています。

本代議員会では、平成15年度の事業計画などの御審議をお願いします。

会長を辞するにあたり、私個人としては、平成12年の本会創立70周年記念事業という区切りの時に、会長職を務めさせていただいて光栄に思っています。代議員、役員、監事、事務局の方々、皆様のご協力で、6年間務めることができたことに、心より感謝申し上げます。

7. 報告

- | | |
|-----------|----------|
| 1) 会務報告 | 古賀 明専務理事 |
| 2) 庶務報告 | 蔵田幸一常務理事 |
| 3) 会計現況報告 | 矢毛石豊常務理事 |
| 4) 監査報告 | 宇都宮啓一監事 |



8. 議事

第1号議案 役員報酬及び旅費改正の承認を求むる件(案)

第2号議案 平成15年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件

第3号議案 平成15年度熊本市歯科医師会一般会計予算案の承認を求むる件

第4号議案 平成15年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案の承認を求むる件

第5号議案 平成15年度熊本市歯科医師会共済会計予算案の承認を求むる件

第6号議案 平成15年度熊本市歯科医師会退職積立金会計予算案の承認を求むる件

第7号議案 平成15年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件

第8号議案 借入金の限度額の承認を求むる件(案)



第9号議案 退会会員の会費及び負担金の未納金欠損処分の承認を求むる件

9. 協議

1.定款改正による勤務会員の取扱について

2.会費未納者の取り扱いについて

3.その他

①支部連絡の方法について(中央)

計報の連絡が休診等で滞ることがあるので各支部ごとに2,3名の連絡先を確保。又、各支部の連絡網を市歯事務局へ連絡してもらいたい。送付のチェックもしてもらいたい。

・支部長交代のある支部は県歯、市歯代議員、国保組合会議員、評議員も交代となるので市歯へ連絡のこと。

・東部4支部の会員数が30名以上となりますので代議員は2名の定数となる。

②行政からの委託料削減が今後もすすむと思うが、どうか(東部2)

長寿の里歯科診療所2400万、在宅は出来高払いとなり殆ど事務費のみの90万、休日夜間診療手当として200万程度、委託事業はこれだけです。熊本市行政は全国で2番目に財政が苦しい市ですが、いきなり0になることはないと思います。しかしながら年々見直しはなされると思うので、本会としても対応していかないといけない。

又、東部2宇治代議員より

将来記念誌を作成する時の資料として執行部、代議員等の写真を残しておいてもらいたい、との希望があった。



10.閉会

菅原洋副会長

(広報 前川研二)

平成14年度 熊本市地域歯科治療病診連携推進研修会

日時 1月31日(金)午後7時30分

場所 県歯科医師会館3階ホール



地域において歯科診療所では対応できない要介護者(重い全身疾患のある者一有病者)が歯科医療を受けることができるように歯科治療体制の整備を目的とした平成14年度歯科治療病診連携推進事業の上記研修会が開催されました。研修会は90名を越す先生、スタッフが参加し、プログラムの通り行われました。

先ず菅原副会長が本事業の流れと開会の辞を述べた。

- 平成12年に在宅の要介護者等の歯科治療対策として熊本県は県歯科医師会へ[歯科治療連携モデル事業]を委託し、県歯科医師会は13年に市民病院を中心に研修会を開催し、[熊本県歯科治療病診連携マニュアル]を作成し、会員へ配布した。
- 本年度は歯科病診連携事例集の作成と推進周知のための研修会を「熊本市、人吉・球磨、天草、水俣・芦北」開催する。
- 歯科治療を安全に、安心して行うため、病院歯科との連携を行う。
- 事業実施に当たっては歯科関係のみならず、一般医科及び救急医療機関とも十分に連携する。

プログラム

進行 熊本市歯科医師会医療管理担当理事

藤波 好文

19:30 開 会 副会長 菅原 洋

挨拶 熊本市歯科医師会会長 関 剛一

19:45 講演 1

「解放型病院を中心とした医療連携について」

国立熊本病院副院長 木村 圭志

20:15 講演 2

「血液疾患と歯科」

国立熊本病院内科

(国立療養所菊池恵楓園内科兼務) 塚本 敦子

20:40 講演 3

「アナフィラキシーショック時の対処方法」

国立熊本病院救急医療センター医長 高橋 毅

21:10 講演 4

「国立熊本病院における紹介患者の統計および考察」

国立熊本病院歯科口腔外科 児玉 美穂

21:20 質疑応答

21:30 閉 会 専務理事 古賀 明



次に関会長が最近、病診・診診の医療連携は重要となっており、有病者等へも安全に、安心して、十分な歯科医療ができる必要性の挨拶をされた。

今回は開放型病院として本会が病診連携を進めている国立熊本病院の4先生で講演して頂いた。講演に先立ち4講師の御略歴の紹介があり、各々の立場より30分という短い時間にも拘わらず、貴重で大事な要点を話して頂きました。医療の進歩、有病者の増加の中で本研修会で学んだ点など更に充実していく必要があると思えました。熱心な講師ばかりで、終了時間も予定オーバーとなり、質問も限らせて行い、古賀専務の閉会の辞で終了しました。

講演1～4は次のとおりです。

(医療管理 藤波好文)

〔講演1〕

「開放型病院を中心とした医療連携について」

国立熊本病院副院長 木村圭志先生



平成8年1月1日付で熊本市医師会との協定書締結から始まった国立熊本病院の開放型病院への取り組みについて国立熊本病院副院長木村圭志先生より詳しい説明が行われた。歯科との関わりは第4回連絡会(平成10年1月21日国立熊本病院研修センター)からになり、以後年2回市歯科医師会との懇談会が開催されております。症例呈示にも歯科医師会から出しており、より多くの会員の参加を呼びかけておられます。開放型病院の施設を利用した連携診療は、我々歯科医には嚆矢や口腔ケアの重要性を他科の医師に伝えることが出来、そこから生まれる医

療のレベルアップが、また患者サイドは、なじみの医師が傍らに付いてくれる安心感を手に入れること等の利点があると思います。現在753名(歯科医師93名)の登録があり、1000名オーバーが目標だそうです。今後も伸びていくと予想されますので、未登録の方は(登録は無料)すぐに手続きをされてください。(TEL096-353-6501) (尾上宏)

〔講演2〕

「血液疾患と歯科」

国立熊本病院内科 塚本敦子先生

1. 歯科での初発症状で発見される血液疾患について

抜歯後出血の止血困難により出血傾向が疑われて紹介されることが最も多く、代表的な疾患に急性白血病があげられる。その他に、口腔内の大きな血腫で発見されることが多い疾患に特発性血小板減少性紫斑病があり、歯肉出血を訴えて受診することが多い疾患に血友病A、Bやフォンウィルブランド病があげられる。

(症例)急性骨髄性白血病

歯肉出血を主訴に歯科を受診し、国立病院内科を紹介された症例。

白血病細胞が10万以上になると治療開始直後にDIC(播種性血管内凝固症候群)を起こしやすく、致命的となるので早期発見が重要となる。この症例では歯科からの紹介が早かったため予後が良好であったとのことでした。

2. 血液内科で対処に苦慮して歯科に対診を求めた症例について

再生不良性貧血：入院治療中に口腔内出血に苦慮して、歯科から往診してもらった症例。連日



5～6回の含嗽とゲンタシン軟膏塗布し、症状改善後ソルコセリル軟膏塗布する方法を指示してもらい、よくなったとのことでした。

急性骨髄性白血病：以前より歯周病があった症例で、白血病の入院治療後、歯肉をfocusとする敗血症をくりかえし、全身に蜂窩織炎が多発し、治療に苦慮したとのことでした。寛解後、再発する前に歯周治療をするよう指示したとのことでした。

骨髄移植：国立病院内科では同種の骨髄移植を年間に50例程行っており、移植後にGVHD(移植片対宿主病)による歯肉炎を起こしやすいので、今後歯科を受診する患者が増えてくると思われるとのことでした。

歯科からの問い合わせにはどのようなものが多いかについて

白血病の治療を受けたことがある患者が歯科を受診した場合：寛解状態にある白血病患者は普通の患者と同様に扱ってよいが、本人が自分の状態をよく把握していないことがあるので、病院に問い合わせして下さいとのことでした。

(金本和久)

[講演3]

[アナフィラキシーショック時の対処方法]

国立熊本病院救急医療センター医長

高橋 毅先生

ショックとは、急性の全身性循環不全であり、次の様な症状があります。

- ・血圧低下(収縮期90mmHg以下、50を切ると脈が触れなくなる)
- ・頻脈(100回/分以上)
- ・微弱な脈拍
- ・爪床の毛細血管refilling遅延(2秒以上)
- ・意識障害
- ・乏尿、無尿
- ・皮膚蒼白、冷汗または39度以上の発熱(敗血症の場合)

などがあげられます。また、ショックを分類すると次のようになります。

- ・液量減少性ショック
- ・心原性ショック



- ・血管運動性ショック
- ・アナフィラキシーショック
- ・敗血症性ショック
- ・神経原性ショック

の中で、アナフィラキシーショックとは、肥満細胞、好塩基球の細胞表面でのIgEを介する抗原抗体反応(アナフィラキシー反応)で、その原因としては次の様なものがあります。

- ・薬物(抗生剤、解熱鎮痛剤、麻酔剤、酵素製剤、臓器ホルモン剤、ヨード造影剤、抗血清剤、ワクチン血液製剤、麻薬など)
- ・食物(牛乳、卵、魚介類など)
- ・その他(花粉、蛇毒、蜂毒など)

症状としては、まず、口腔内異物感、あくび、めまい、咳、くしゃみなどが初発症状としてあり、その後重篤化していきます。まず脈をとり、脈があればひと安心だということです。

処置としては

- ・薬物などでは投与中止(点滴や注射の針はそのままにしておいた方がよい。ショック症状に陥った場合、静脈確保が非常に難しくなるため)
- ・バイタルサインのチェック(血圧、脈拍、呼吸)
- ・気道確保、酸素投与(重篤な場合は気管内挿管、輪状甲狀韌帯切開など)
- ・下肢挙上
- ・血管確保を行い、乳酸リンゲル液500～1000mlを急速輸液

治療は

(1)エピネフリン投与(第一選択)

- ・昇圧、強心、気管支拡張、ヒスタミン放出抑

制作用

・ボスミン1アンプルを生食20mlと混ぜて1ml
づつゆっくり静注(血管確保できない場合は
ボスミン1/2アンプルを皮下注)

・心室性細動に注意(リドカイン50mg静注)

(2)アミノフィリン、メチルプレドニゾロン、抗ヒ
スタミン剤、などの静注

アナフィラキシーショックは命に関わる場合
が多いので、我々開業医の対応としては、患者様
に異変が起きたとき、上述した様な症状が認め
られればアナフィラキシーショックを疑い、まず
エピネフリンを投与して救急車を要請した方が
良いとの事でした。また、国立熊本病院の登録医
になっていただければ事前に医院の場所を下見
していただけるので、なにかあった時スムーズ
な対応をしていただけるとの事でした。

(宮本 格尚)

[講演4]

「国立熊本病院における紹介患者の統計および
考察」

国立熊本病院歯科口腔外科

兄玉美穂先生

今回、平成14年1月から12月までに国立熊本
病院歯科口腔外科を紹介受診した患者数を、紹
介先別、月別、男女比別、病名別に統計をとりましたので報告します。

〈紹介先別〉

歯科診療所からの紹介が398と最も多く、歯
科以外の科の診療所からが33、病院歯科が12、
病院の歯科以外の科が7、その他が2でした。

〈月別〉

月平均37.7人であり、8月、7月、4月の順で多



いという結果でした。

〈男女比別〉

男性197 女性255 で女性が多いという結果
でした。

〈年齢別〉

20代、30代の紹介患者数が多いという結果で
した。このことは次の病名別の統計に出てきま
すが、平成14年は、20代、30代の患者の智歯抜
歯依頼の紹介が非常に多かったということが示
されています。3番目に多かったのが50代で、こ
の年代では依頼内容は智歯周囲炎のほか、顎炎、
顎嚢胞、腫瘍など様々でした。次に多かったのが
70代で、この年代では、高血圧、狭心症、心筋梗
塞、脳出血、糖尿病などの基礎疾患を理由とし
た抜歯などの外科処置依頼が多くみられました。

〈病名別〉

智歯周囲炎、智歯抜歯依頼 184例

Per、P病名での抜歯依頼または治療 69例

智歯以外の永久歯の埋伏過剰歯の抜歯依頼
11例

抜歯途中での抜歯依頼 5例

歯科治療困難者の全顎治療依頼 16例

顎炎、蜂窩織炎 27例

顎嚢胞 23例

粘液嚢胞 8例

良性腫瘍 30例

悪性腫瘍 4例

外傷 11例

顎関節症 12例

舌痛症 8例

その他、口内炎、帯状疱疹、ドライソケット、異
常出血、三叉神経痛、骨隆起、上顎洞炎、腐骨な
ど

以上のように、紹介のかなりを抜歯依頼が占
めています。外傷は11例と少なく感じますが、国
立熊本病院では救急外来へ搬送され、歯科を受
診される例が多いため、歯科へ外傷が直接紹介
してくるのはこの程度です。

〈紹介率〉

平成14年4月から12月までの統計では、当院
では、医科の平均紹介率が50.3%であるのに対

し、歯科口腔外科の紹介率は22.2%と非常に低い結果でした。紹介無しで歯科外来に来られた患者の中には、「近所の病院で、大きい病院の歯科に行ってくださいと言われた」といって紹介状をお持ちでない方やFAXのみでの紹介、名刺だけの紹介という方も結構いらっしゃいます。当院では、開放型病院連絡会を開き、診療所の先生方と直接お会いし御意見を頂く機会などがありますが、一部浸透していないところもあるようです。これを機会に、紹介状を書いていただければと思っております。

〈事例紹介〉

事例1

患者：88歳男性

初診：平成13年2月8日

基礎疾患：脳血管性痴呆

日常生活自立度：要介護度3 痴呆老人Ⅲa

主訴：右側下顎部疼痛

病名：右側下顎骨骨折

搬送方法：長男夫婦つきそいで車イスにて入院

経過：平成13年2月6日、老健施設B苑に入所中、所内で転倒。翌日A病院整形外科を受診し右側下顎骨骨折と診断され同病院より当院を紹介受診。患者の家族と相談の上、プレート固定術を予定した。不穩時の興奮、徘徊、失禁、失便があり介護の必要性があるため、精神科病棟入院の手続きをとった。平成13年2月12日入院。2月13日、全身麻酔下にてプレート固定術施行。2月13日～19日、抗生剤点滴。入院中は毎日、口腔内消毒を行った。平成13年2月20日、抜糸。経過良好にて同日退院となりB苑へ帰所された。以後、毎日の消毒はB苑に依頼した。退院後の2週間後と4ヶ月後と10ヶ月後に経過観察を当院にて行い、治療、終診となった。

事例2

患者：85歳女性

初診：平成14年2月12日

基礎疾患：高血圧、狭心症、慢性肝炎

日常生活自立度：正常

主訴：右側上顎、鼻翼下部の自発痛と腫脹

病名：右上3含菌性嚢胞、右側上顎骨骨膜炎
搬送方法：家族つきそい車イスにて入院

経過：平成14年2月9日、右上顎と鼻翼下部に疼痛腫脹ありA歯科医院を受診。レントゲン所見にて右上3埋伏歯とその周囲に嚢胞を認めたため、当院を紹介、2月12日受診、右上3含菌性嚢胞および右側上顎骨骨膜炎の診断にて抗生剤と消炎鎮痛剤の投与を行い、入院の上、全身麻痺下にて嚢胞摘出および抜歯術を予定した。2月19日、当院循環器内科を受診、現在内服の降圧剤と強心剤の続行指示とニトロテープ剤貼付のうえで手術可能な診断をうけた。2月25日入院。2月26日嚢胞摘出および抜歯手術施行。術中術後は血圧、心電図とも安定しており問題はなかった。2月25日から3月5日、抗生剤点滴、3月6日、経過良好により退院。以後はA歯科医院に義歯調整を依頼した。

このように、当院では、高齢者に口腔外科処置を行うことが多く、今後、高齢者の増加に伴い、ますます基礎疾患を有する患者に外科処置を必要とする症例が増えてくるものと思われます。有病者、要介護者の方はもちろん、すべての方により充実した歯科医療を行えるよう、病院と病院、病院と診療所、診療所と診療所が連携し、医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、ケアマネジャー、ほか病院スタッフなどと密接な連携を確立し、予防、治療、急性期医療、慢性期の治療など、それぞれの病院、診療所の特色をいかした医療を提供していくことが大切だと思います。人々が歯や口の健康や全身の健康に一層の関心を持ち、医療側が予防や治療を必要とする人に最適な医療が行えるよう、地域医療のネットワークの構築とその充実をはかる必要がありますが、この会はそれを充実させるものだと思います。

(村上辰郎)

国立熊本病院と熊本市歯科医師会との協議会

2月5日(火)、午後7時より国立熊本病院にて、平成14年度第2回協議会が開催されました。国立熊本病院からは宮崎院長、木村副院長、池井救急医療センター長、児玉歯科口腔外科医長が、市歯科医師会からは関会長、菅原副会長、蔵田常務、藤波理事、尾上委員長が出席し、主に病診連携について協議されました。

まず、宮崎院長より今話題になっている新国立熊本病院についての話をまじえ、関会長は1月31日本会での病診連携推進研修会の御礼等の挨拶の後、児玉先生の進行で議事に入りました。池井救急医療センター長より1例、局麻後体調異変の電話相談があったが、救急医療センターで対応した事例はなかったと報告がありました。国会より、市近隣地域での誤嚥事故で紹介したが対応可能な救急病院が良くわからなかった例を紹介し、市周辺地域へも国立熊本病院の救急体制をアピールして頂いたら、近隣の歯科医師にも頼もしい存在になることを話しました。早速、開放型病院連絡会の案内と救急時の後方支援体制の文書を郡、市歯科医師会長へ送られるとのことでした。

木村副院長より1月19日の開放型病院連絡会について説明があり、メインが厚労省の関英一先生の「電子カルテ普及のシナリオ」の講演であ

り、歯科では児玉医長が歯科口腔外科の現状を病診連携関係を中心に症例呈示されると、一部資料を示して説明がありました。

事務より国立熊本病院歯科での紹介率が20%と医科に比べかなり低い資料が呈示され、紹介率30%以上で病院歯科Iを目指しての取り組みが報告されました。病院歯科Iになると外来でも共同指導ができるので、外来紹介の多い歯科では有効に活用でき、もっと病診連携を活発にしていきたいものです。

また、救急蘇生法講習会は基本実習の他、血管確保など毎年少しづつ内容を変え共催しているが本年も11月開催に協力して頂けるとのことでした。

また、障害者の歯科治療については予算の問題も関わってくるが、できるだけ対応できるようにと有難い返事がありました。後日、本年より可動できる予算にメドがついたと連絡があり、一般歯科では困難な歯科医療を施されると、谷間にある障害者にも喜ばしいものなと思います。

種々困難な症例も積極的に病診連携を利用することで、安心して安全に満足できる治療で患者さんよりの信頼も高まり、今後とも同病院とともに取り組んでいきたいと思います。尚、患者紹介時には電話、FAX依頼だけでなく、必ず紹介状を持参させて下さい。

(医療管理 藤波好文)

第31回 パールラインマラソン大会

第31回天草パールラインマラソン大会が3月9日(日)、天草郡大矢野町で開催された。当日は晴天に恵まれ、気温もまだ肌寒い絶好のマラソン日和の中、全国から3550人の参加登録がなされた。

大矢野サンパール広場での和太鼓演奏、ブラスバンド等のオープニングセレモニーの後、開会式が行われ、準備体操へと進んだ。例年どおり、10キロコースと20キロコースに分かれ、ランナーたちは11時より順次スタートして行った。

本大会には、熊本市保健医療専門団体連合会による走行前後の健康診断ならびにアンケート



調査が行われ、市歯科医師会公衆衛生委員会、技工士会、衛生士会の代表は受付として参加した。

(公衆衛生 二宮康郎・川口孝)

歯科からみた熊本市保健福祉行政の現状

－「熊本市の保健福祉平成14年度版」より－

熊本市の保健福祉事業全体に占める歯科の位置づけと予算措置は？

- ▶ 保健福祉事業全体では7事業群90項目ある
 - ◇保健福祉事業全体の予算は1,910億5千万円
 - この中に、熊本市国民健康保険予算も含まれる
- ▶ 7事業群中に「健やかなライフスタイルの確立」事業(9項目)がある
 - ◇「健やかなライフスタイルの確立」事業群の予算12億4千万円
- ▶ 「健やかなライフスタイルの確立」事業中に「歯科保健推進事業」がある
 - ◇「歯科保健推進事業」の予算670万円は、
 - 対前年度(H12年度)比で、1,200万円の減額
 - 健やかなライフスタイルの確立・全9項目の予算に対して0.54%

各種計画での歯科保健の扱いは？

- ▶ 保健福祉関連の計画は、全部で10計画ある
 - ◇「熊本市総合計画(第5次)」「熊本地域保健医療計画」「熊本市老人保健福祉計画」「熊本市障害者基本計画」「くまもと市子どもプラン」の説明箇所には、歯科保健という直接表現なし
 - ◇10計画の一つ「健康くまもと21」では、歯科保健が取り上げられている
 - 乳幼児期から高齢期まで。最優先ではないが「二次的に取り組むべき課題」
 - ◇10計画の一つに「熊本市歯科保健基本計画」がある

健康づくり啓発事業における歯科関連項目は？

- ▶ 「健康フェスティバル」
- ▶ 「健康くまもと21」
 - ◇H12、13年の市民インタビューやアンケート調査

◇<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/kenko/s-kenko21/kenko21.html>

歯科保健推進事業の内容は？

- ▶ 歯科保健の推進(決算額121万5千円)
 - ◇「8020推進ボランティア」79名
 - ◇「歯科保健推進協議会」開催3回
 - ◇「歯たち(20歳)の健診」
熊本市歯科医師会43名、大学祭641名
- ▶ 歯の衛生週間事業(決算額14万7千円)
 - ◇「母と子のよい歯コンクール」予備審査50名
 - ◇「無料相談」154名
 - ◇「無料健診」666名(よい歯のピエロショー237、熊本市歯科医師会429)
 - ◇「無料フッ素塗布」178名
 - ◇「8020表彰」22名
- ▶ 在宅寝たきり者歯科健診事業
 - ◇H13年度実績(前年度)
 - 受診者数54名(199名)
 - 決算額310万円(1,815万円)

医療サービス体制充実事業

- ▶ 休日昼間は熊本県歯科医師会口腔保健センター
- ▶ 休日夜間、年末年始期は熊本市歯科医師会に委託

歯科診療所数

- ▶ H13年10月1日現在で実数329施設
 - ◇有床2施設。医療法人2割、個人8割、市立と公益法人各1施設
 - H13年度末での本会会員施設数298施設(非会員が約30施設)
 - ◇H2年度244施設、H3年度271施設
 - ▶ 人口10万人あたりH2年42.1施設、H3年43.0施設、H13年49.4施設
- H12年度末の歯科医師数
- ▶ 市内521名、県内1,108名、全国90,857名
 - ◇人口10万人あたり市内78.7名、県内59.6名、全国71.6名

▶ 20年前S55年市内275名、10年前H2年同317名

◇人口10万人あたりS55年52.3名、

H2年54.7名、H12年78.7名

▶ 世代別歯科医師数は

◇25～34歳117名、35～44歳151名、

45～54歳162名、55～64歳47名、

65～74歳23名、75歳以上21名

子育て支援の充実事業

▶ 乳幼児等医療費育成事業

◇4歳児まで歯科は全額助成

▶ 母子健康診査事業

◇1歳6ヶ月児健康診査で歯科は健診対象の94%・6,507名受診

○むし菌399名、不正咬合2,014名、

軟組織異常2,012名、その他511名

◇3歳児健康診査で歯科は健診対象の92%・

6,434名受診

○むし菌2,150名、不正咬合1,978名、

軟組織異常1,878名、その他602名

口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物による死亡者は？

▶ 25名(男19名、女6名)。

H13年度の市内全死亡者は4,353名

各校区における人口

校 区			人 口	校 区			人 口	校 区			人 口		
中 央	碩 白 城 大 本 春 出 託 帯 白 西 帯 出 小	台 川 東 江 莊 竹 水 原 山 山 原 西 南	6,165 6,311 2,299 8,996 3,283 14,628 7,649 16,229 15,235 11,026 14,123 8,442 13,030	西	城 花 池 白 高 池 城 松 松 松 小 中 芳 河 小	西 園 田 坪 橋 上 山 東 西 北 島 野 内	14,036 12,285 13,130 12,402 508 6,909 9,444 2,620 1,329 267 3,683 4,233 2,378 4,239	南	飽 田 中 銭 奥 川 日 小	南 西 緑 塘 閑 口 東	2,117 2,819 1,232 2,468 3,905 2,513 6,020 111,815		
	小 計	127,416	尾 尾 尾 島 野 内		2,620 1,329 267 3,683 4,233 2,378 4,239	計	111,815						
	砂 健 秋 泉 ケ 若 尾 託 託 託 桜 東 月 健 託 山 ノ 長 桜 小	取 軍 津 丘 葉 上 東 西 北 木 町 出 東 南 内 嶺 東	9,485 12,725 13,193 7,525 5,510 13,212 11,925 14,937 8,272 7,781 8,499 10,107 12,647 6,146 8,869 11,767 5,637		南	向 画 日 川 力 御 田 城 田 飽	山 図 吉 尻 合 幸 迎 南 南 東		9,844 11,014 6,809 9,069 9,996 14,172 10,491 5,766 6,983 6,642	北	黑 清 龍 城 高 楠 麻 武 弓 榆 川 西 北 小 校 区 不 詳 總 計	髮 水 田 北 台 生 蔵 削 木 上 里 東 計	13,811 12,240 14,517 11,096 15,155 7,249 7,645 6,954 4,697 6,808 9,525 7,200 8,630 125,527 3,452 657,838
	小 計	168,237	小 計			121,391	小 計		125,527				
	壺 慶 一 五 古 春	川 德 新 福 町 日	7,988 2,391 9,928 3,162 3,381 7,078										

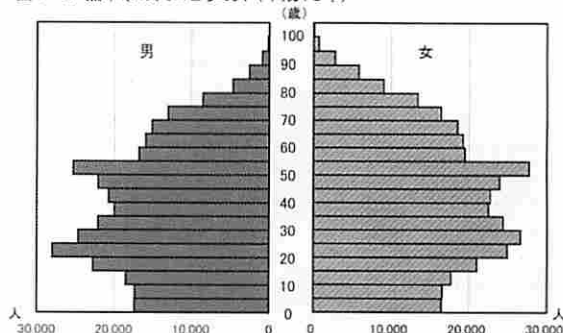
図1-5 熊本市の人口ピラミッド(平成13年)

(歳)

男 女

人 人

図1-5 熊本市の人口ピラミッド(平成13年)



(清村正弥)

臨床記録の保存と活用

牛島 隆

はじめに

歯科臨床は主に慢性疾患を対象としているものが多いことや欠損歯列といった一種の障害に対する機能回復を図った処置判断の良し悪しを知るために患者さんの術後経過を追っていくことが大切で、そこからさまざまなことを学ぶことができます。そのためには患者さん各々の臨床記録をできるだけ多く残し、経過の中で病態や障害の変化を比較・分析していくことが重要だと考えています。

かかりつけ歯科医制度ができ、患者さんにこの先も自分の医院に通っていただけるようにするためにも、臨床記録を残し、それらを個や集団を対象に検討して臨床にフィードバックさせたり、経過を患者さんに見せたりすることは非常に重要で、患者さんにも共感していただけるものと考えています。そこで今回は臨床記録をいかにして残し役立たせるか、またそのときに注意すべき点を述べたいと思います。

記録の手段

1 口腔内写真

IT化が進み、デジタルカメラが歯科臨床に急速に普及しはじめ、患者さんに手軽に口腔内写真を提示できて視覚に訴える説明ができるようになってきましたが、デジタルであれアナログであれ、口腔内写真は患者さんの経過を見てい

く上では非常に大切なものと考えています。歯牙や歯周組織の変化をダイナミックに観察することができ、一枚一枚の写真には言葉や数字では記録できない情報がたくさん詰まっています(図1、2)。それは経過がもたらすことをつぶさに観察することで、その経験がよりの確な臨床判断に繋がるという点で歯科医自身のためでもあり、患者さんにその変化や逆に変わらないことを見せることで非常に納得していただきやすく、強力な武器にもなります。これは歯科医療独特のものであり、医科や美容整形などでは術前術後はあっても何十年の変化はほとんどありません。いくら審美的に美しい補綴物を入れたとしてもそれがどれくらいの期間保てるのか、機能できるのか、そういったことは患者さんサイドからすればとても重要なことであり、その経過を患者さんにごらんいただければ、「やってよかった」あるいは、「今度はこうしてほしい」という言葉をいただけるものと思います。そういった意味でも、できるだけ経過の写真を撮っていきたいものです。

保存

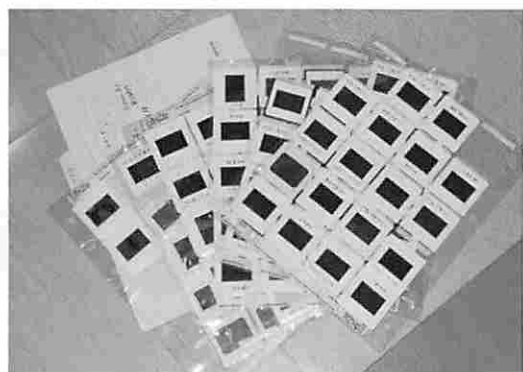
デジタル写真はデータ化してしまえば、スペースもとらずちょっとした工夫で検索も簡単に行えます。ただ、何らかのトラブルによるデータの消失だけは避けたいために2重以上のバックアッ

(図1、2) 経過の中における変化からさまざまなことが学べる



ブをとっておく必要があると思います。デジタル写真がいくら進歩したとはいえアナログ写真と同等の画質を得るためには、カメラも一眼レフタイプ以上の機種が必要となりますし、色調の補正など問題点はまだまだありそうです。筆者はいまだアナログ撮影なのですが、リバーサルフィルムで撮影し、35mmスライドにしています。保存は患者さんごとのフォルダを作成してスライドキャビネットに保存しています。ただフィルム面にはほこりやカビなどがつかないように気をつけなければならず、袋型のフィルムシートに入れて保存しています(図3)。そしてケースプレゼンテーションや患者さんに見せるときに、パソコンに取り込んで利用しています。ただ枚数が増えればスペースを必要としますし、検索が結構大変です。

(図3) 患者ごとのフォルダにスライドを入れ、キーワードを書き込んでいる



2 X線写真

日常臨床で頻繁に撮影するX線写真もただ何

気なく現症を撮るのではなく、以前撮ったレントゲンあるいは将来得られるものと比較することで、重要性の高い臨床記録となります。そのためには同じ方向で撮影する、同じような現像処理を行うといったことで、より正確な観察ができるようになります(図4、5)。X線は二次元で、しかも白黒の表現しかできないために、撮影条件が異なってしまうと、読み取れる情報も限られてしまいますので、そのためにはコントラストや黒化度を常に一定に保つために、撮影・現像条件の見直しも必要かもしれません。またフィルム保持のための補助器具を使ったり、口腔内でのフィルムの位置づけについてそれぞれの歯科医院で統一した基準を決めておくことも有効と思われます。

保存

定着不足や水洗不足があるとレントゲンフィルムは時間の経過とともに劣化していきやすいようです。著者の診療室では通常の現像処理をして、自身で確認したり患者さんに見せた後、さらに定着(10分)と水洗処理(30分)を追加して行っています。

X線フィルムは傷や汚れから守るために小さなデンタル用の透明な袋(進藤歯科商店OPフィルム保存袋)に入れ、ネームシート(ニックスマウントラベル)をつけて透明なシート(ニックスフィルムマウントシート)に日付順に張っていきます。またパノラマ写真も同様に透明な袋にいれネームシールを張り保存しています。それを患者さんごとのカルテフォルダに歯周組織検査

(図4、5) X線による骨の変化を確認するには同じ角度と条件で撮影したい。写真は8年経過のもの



Study

用紙などと一緒に保存し、再来院時に比較できるようにしています。

レントゲン写真も最近はデジタル化が進んでいるようですので、今後に期待したいと思っています。

3 歯周組織検査

歯周ポケット測定は術者や歯周組織の条件によって大きく影響されるために同じ条件で検査することが非常に困難ですが、やはり数値として残す意味は大変大きいために測定する術者はできるだけ同じ人、そして測定基準を明確に決めておく必要があると思われます。

それはプローブ挿入の荷重であったり、動揺度や分岐部病変の分類の基準をさします。現在は記録用紙に記入していったものをカルテファイルに保存しています。個々の患者さんの経過の中での比較に関してはこれでも十分役立ちますが、最近はパソコンにデータを入力していくソフトなども何種類かでており、全体の傾向を知りたいようなときに集計作業を行うのにはとても楽にできるようです。

4 カルテ

カルテは法的に証拠価値を認められており、最低5年間は保存する義務がありますが、その中にはとても多くの情報が残されており、10年、20年と患者さんの経過を見ていく上で出来る限り保存の工夫をして残していきたいものです。ですから診療内容の記録だけではなく、症状の詳細を含めた患者さんの情報を出来る限り書き留めておくことが重要だと考えます。レセプトコンピュータでカルテ出力できるものもたくさんありますが、検索機能が十分でないのと、患者さんの言葉や環境、術者がそのとき考えたことなどすべてを入力するのは大変ですので、筆者はカルテは手書きです。

5 その他

その他にも臨床記録として残せるものは、たくさんあります。スタディモデルやチェックバイト、ゴシックアーチ、咬合力、サリパテストなどなど、それらはすべて利用したときだけではなく、できれば経過の中で見直してみようという臨床姿勢は必要だと思います(図6)。

(図6) 経過を追っている患者さんはスタディモデルやゴシックアーチなどを個別に整理して保存



データベース化

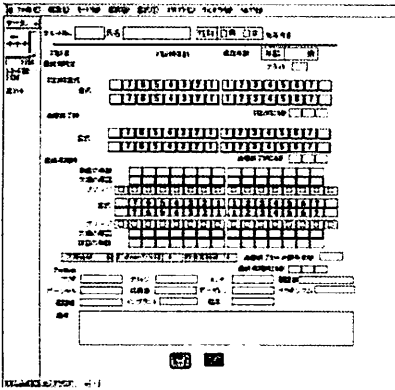
ひとりひとりのカルテ、レントゲン、口腔内写真、診査用紙などを保存していく重要性を述べてきましたが、それらはばらばらでいるよりもまとまってデータとして保存されるとさらに臨床に役立つことが発見できます。たとえば口腔内写真ひとつとっても同じような欠損形態の患者さんのスライドを並べてみると、診断や処置方針の決定などについても術者の傾向が見えてくるでしょうし、それらの経過があれば予後についても新しい見方が発見できるかもしれません。

またパソコンによって簡単にデータベース化することができるようになりました。たとえば自分の医院の患者さんは10年でどれくらい歯を失うのだろうかとか、自分の入れた補綴物はどれくらいもっているのだろうか、これはたくさんの患者さんのデータを集計していかなければできません。しかし歯科医師としての職業を選んだ以上どれくらい患者さんに自分の技術や知識が寄与しているのか、必ず気になるのではないかと思います。若い先生はこれからコツコツとデータを蓄積し、ベテランの先生は昔のカルテを振り返り、全体像を見る。これが大切だと思っています。

ただし、資料や記録をすべてパソコンに取り込んで…というのは時間も労力も足りなくなってしまう。ここはそれらの資料を整理して

21+42*8

保存し、いつでも取り出せるようにしておいて、通常は興味あることのみにとどめておくのが長く続けるコツです。私はデータベースソフト(ファイルメーカーPro)を使って患者さんのデータを入力しています。特に欠損の進行やそれに伴う障害といったことについて興味があるため、それに関連のある要素についてのデータをとっています。必要に応じてそれらを集計したり、統計処理してみたりしています(図7)。



(図7) 今使用しているデータベースファイル
できるだけ簡素にしている

データフィールドの内容は細かいほど多くの情報が引き出せますが、ルーティーンに入力作業をするのは結構面倒で、できるだけ簡単で興味ある内容についてのみ入力する方がいいと思います。あとは必要があればカルテや口腔内写真、レントゲンを引っ張り出して…という具合です。そのためには記録の保存と整理は常にきちんと行いたいものです。

今は歯科医師を目指す学生の授業でもパソコンや統計が必須になってきていると聞いています。EBMの重要性が説かれておりますが、歯科医療の特異性、つまり患者の個体差・個人差、術者の技術に大きく影響されるという特徴からエビデンスがすべて臨床判断を決定づけることは困難と考えています。しかしそれぞれの診療室のデータほどそれぞれの術者に役立つエビデンスはありません。自分の履歴を資料として残し、今後の診療に生かし、患者さんに還元するという姿勢はこれからなお一層求められていくのではないかと考えています。

歯神六部の墓

西暦1,720年今から280余年前、将軍徳川吉宗公の享保4年、一人の六部がこの室園の地を巡礼した。その折六部が突然激しい歯痛で苦しみ、臨終におよんで

“私の霊を拜んでくれた人は 必ず歯痛を治してあげよう”

と言って息を引き取った。当時の室園の人たちは六部僧の死を慎みこの地に遺体を葬ったと伝えられている。

他地域では現存しない珍しい貴重な墓である。

注 六部とは…… 日本全国66ヶ所の
霊地を巡回し、経文
を献納しながら修
行した僧を言う。

碑銘

享保四年 亥天
西譽億念大徳
七月初九日

六部の墓の所在地 熊本市室園町17-24
年禰禅社敷地内 清水老人憩いの家北隣

新人です!よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 北 克巳
診療所名 北歯科
(診療所) 熊本市江越2-20-28
電話/096-326-4182
(自 宅) 熊本市花園4-10-10
電話/096-324-5566
生年月日 昭和19年4月2日
趣 味 特別なし
嗜 好 品 酒、めん類
好きな言葉 「人生意気に感ず、短気は損気」
尊敬する人 親
経 歴 県立熊本工業高等学校卒業
昭和52年 日本大学松戸歯学部卒業



氏 名 岡本 勝
診療所名 岡本右近歯科医院
(診療所) 熊本市大江7-8-52
電話/096-363-8210
(自 宅) 熊本市長嶺南5-3-168
電話/096-369-0309
生年月日 昭和45年12月5日
趣 味 映画鑑賞、音楽鑑賞
嗜 好 品 冷たい食物
好きな言葉 誠実、素直
尊敬する人 母
経 歴 県立熊本高等学校卒業
平成9年 九州歯科大学卒業
平成15年 開業



スポーツの広場



あつまるデンタルゴルフ会

平成15年1月5日（雪ハーフ打ち） 11名

	O	H	N
優勝 北川 隆之	40	5.0	35
2位 内田 隆	42	6.5	35.5
3位 谷川 貞男	43	5.0	38
4位 宮崎 幸一	46	8.0	38
5位 大森 秀則	49	10.5	38.5
B.B 本田 治夫	50	8.5	41.5

熊本デンタル

(空港カントリー)

平成15年1月26日 17名

	O	I	G	H	N
優勝 工藤 考	49	47	96	29	67
2位 大嶋 健一	40	41	81	9	72
3位 松本 光示	40	41	81	6	75
4位 工藤 隆弘	46	44	90	11	79
5位 稲葉 逸郎	44	41	85	5	80
B.B 千場 正昭	49	49	98	11	87

平成15年2月2日 11名

	O	I	G	H	N
優勝 古賀 明	38	41	79	12	67
2位 合沢 康生	44	42	86	16	70
3位 宮崎 幸一	47	41	88	16	72
4位 内田 隆	45	44	89	12	77
5位 北川 隆之	43	46	89	9	80
B.B 森 一	49	52	101	13	88

平成15年2月23日 15名

	O	I	G	H	N
優勝 内田 隆	41	41	82	11	71
2位 稲葉 逸郎	37	39	76	5	71
3位 井口 泰治	42	46	88	14	74
4位 松本 光示	39	42	81	5	76
5位 本田 亘	49	45	94	17	77
B.B 奥田 洋実	48	49	97	10	87

平成15年3月30日 11名

	O	I	G	H	N
優勝 内田 隆	39	41	80	12	68
2位 大森 秀則	50	45	95	21	74
3位 本田 治夫	49	45	94	17	77
4位 奈良 健一	43	48	91	11	80
5位 宮崎 幸一	47	49	96	16	80
B.B 河野 敬明	49	53	102	17	85

平成15年3月30日 12名

	O	I	G	H	N
優勝 大嶋 健一	43	40	83	8	75
2位 松本 光示	39	41	80	5	75
3位 渡辺 博	43	42	85	9	76
4位 甲斐 利博	44	42	86	7	79
5位 中根 俊吾	45	47	92	13	79
B.B 三 笛 司	51	49	100	10	90

空港デンタル

は行われておりません。

1. 会務報告

平成14年3月、4月～平成15年2月末現在

理 事 会 月1回開催

会務報告

総務報告、各委員会事業報告及び計画、臨時委員会事業報告及び計画

庶務報告

会計現況報告

協 議

常務理事会 月1回開催

会務全般にわたり協議

総 務

対 内

- ・ 歯の衛生週間に伴う上通りイベント実行委員会(4/10、4/25、5/24)
平成14年度歯の衛生週間「2002歯の祭典」(6/9)
一斉無料歯科健診(6/4～10)
- ・ シティエフエム出演(3/7、3/14、5/29、6/5、9/4、9/11、10/30、11/6)
- ・ 福祉施設「明生園」健診打合せ(3/12)
歯科健診(3/22)
「長寿の里デイサービスセンター」歯科健診(6/3～7)
「西里デイサービスセンター」健診打合せ(7/2、7/29)
- ・ 平成13年度市歯代議員(3/15)、総会(3/20)
- ・ 各郡市歯科医師会会長連絡協議会(4/27、2/1)
専務理事連絡協議会(6/29)
会長・専務理事連絡協議会(10/25)
歯科医師連盟支部長会議(2/1)
- ・ 口唇口蓋裂に関する医療・保健・療育についての意見交換会(7/3)
- ・ 国立熊本病院との協議会(7/12、2/5)
- ・ 平成14年度厚生科学研究「高齢者の口腔とADL調査」研修会(7/28)
打合せ(9/4、1/28)、資料作成(2/6、2/10、2/15、2/21、2/24)
- ・ 厚生労働大臣表彰受賞式(第23回全国歯科保健大会)(11/9)
祝賀会打合せ(11/5、11/27)、祝賀会(12/7)
- ・ 九州八市歯科医師会第2回専務理事会議(8/3)
第21回九州八市歯科医師会役員連絡協議会(10/18)
- ・ ふる里龍田の夏まつりに於ける歯科相談(8/4)
- ・ 福祉施設「西里デイサービスセンター」歯科健診(8/5～8)
「秋津デイサービスセンター」健診打合せ(10/29、11/6)
歯科健診(12/2～6)

- ・熊本市への要望書提出(9/5、10/15)
- ・市歯監査(9/13)
- ・平成14年度歯科治療病診連携推進事業担当者打合会(9/14)
病診連携と介護者研修打合せ(11/11、11/18、11/26)
平成14年度熊本市介護保険等対応歯科医師研修会(12/7)
- ・訪問歯科検診・訪問保健指導[明生園、明飽苑、あやの里](1/18)
説明会(12/16)
平成14年度歯科治療病診連携推進事業打合会(12/26、1/24、1/28)
平成14年度熊本市病診連携推進研修会(1/31)
- ・平成14年度市歯代議員会(9/26)、臨時総会(9/27)
- ・長寿の里文化祭訪問(11/23)
- ・未入会者との話し合い(12/26)
- ・長寿の里年始挨拶(1/7)
- ・中央支部会新年会(1/10)
- ・座談会(1/21)
- ・三師会・看護協会新春懇談会(2/4)
- ・池上校区民健康測定・歯科相談会(2/9)
- ・合同委員会懇親会(2/21)

対 外

- ・熊本市歯科保健推進協議会(3/26、5/24、2/18)
胎児期・乳幼児期(就学前)部会(6/6、6/21、7/11)
少年期部会(7/4)
成人期・高齢期・障害者(児)部会(7/18)
- ・熊本市社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会(3/5、5/7、7/2、9/3、11/5、1/7)
- ・「健康くまもと21」策定市民会議専門委員会(3/6)
準備会(11/28、2/7、2/25)
- ・平成13年度地域歯科衛生士交流会反省会(3/19)
- ・平成13年度熊本市災害医療対策連絡会議(3/22)
- ・財団法人熊本市福祉公社ヒューマンライフ理事会(3/28、5/28)
- ・社会福祉法人熊本市社会福祉事業団理事会(3/28、5/29、7/29)
- ・平成13年度熊本地域保健医療推進協議会及び熊本市健康づくり等保健事業推進協議会(3/29)
- ・医専連20周年記念行事準備委員会(4/23)
- ・平成14年度熊本市社会福祉審議会(5/2)
- ・熊本市保健医療専門団体連合会理事会(5/22、1/14)
代議員会(6/12)
- ・国立熊本病院地域医療支援病院運営委員会(5/23、12/4)
- ・平成14年度熊本市健康危機管理連絡会議(5/23)
- ・国民健康保険運営協議会(5/28、2/7)

- ・ 熊本市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会(5/31、2/6)
公聴会(7/16、7/18)
高齢者保健福祉部会(9/27、12/9、2/3)
介護保険部会(2/6)
- ・ 平成14年度熊本市医師会定例総会懇親会(6/29)
- ・ 平成14年度熊本市市民健康フェスティバル実行委員会総務部会(6/21)
企画準備委員会(7/9)
- ・ 平成14年度熊本市保健協議会委員総会(7/19)
- ・ 熊本市地域リハビリテーション協議会監査及び委員総会(7/30)
- ・ 熊本地域保健医療推進協議会地域計画検討部会(7/30、8/30、10/17、1/29)
- ・ 熊本市救急医療協議会並びに熊本市災害医療対策連絡会議(8/6、12/5)
- ・ 平成14年度熊本市市民健康フェスティバル
企画準備委員会(8/8)、運営委員会(9/24)
開会式(10/12)、閉会式(10/13)
反省会及び意見発表(11/19)
- ・ 熊本市市民病院研究管理棟建設及び診療機能拡張工事落成式(8/10)
- ・ 医専連20周年記念講演会、記念祝賀会(2/22)
- ・ 第26回健康教室講座開講式(9/12)
閉講式(10/24)
- ・ 第29回市民講座、平成14年度医専連シンポジウム(10/19)
- ・ 熊本地域保健医療推進協議会(10/25、2/14)
- ・ 紫垣正良市議表彰祝賀会(10/25)
- ・ 自衛隊熊本地方連絡部創立46周年記念祝賀会(11/15)
- ・ 介護保険部会(11/18)
- ・ 熊本市医師会ヘルスケアセンター業務報告会(11/28)
- ・ 訪問看護検討委員会(12/18、1/29)
- ・ 藤川たかお後援会本荘事務所開所式(1/14)
- ・ リハビリテーション検討委員会(2/10)
- ・ 「医療と警察」討論・意見交換会(2/26)

2. 庶務報告

平成14年3月、4月～平成15年2月末現在

1. 現在会員数

330名
一般会員 278名
親子会員 3名
終身会員 40名
勤務会員 0名
特別会員 9名

2. 入会者

H14. 4.24	堀田浩史	熊本市長嶺東2-9-25	東部3
H14. 4.24	宮田正孝	〃 鍛冶屋町19	西部
H14. 4.24	村田尚之	〃 飛田3-11-10	北部3
H14. 4.24	嶋田英敏	〃 練兵町28ハイムサンシャイン1F	西部
H14. 9.25	伊東隆三	〃 子飼本町3-14	北部2
H15. 2.26	西 正浩	〃 坪井2-2-18	北部1

3. 物故者

H14. 7.24	斉藤 勸	熊本市田崎2-4-30	小島
H14. 7.24	伊東武嗣	〃 子飼本町3-14	北部2
H14.10. 8	友枝晴夫	〃 紺屋今町4-2	中央

4. 退会者

H14. 3.31	福田丈夫	熊本市小島下町2012	小島
H15. 1.31	塩田 仁	天草郡有明町大島子2380-1	西部

5. 代表歯科医変更

なし

第3号議案

平成15年度熊本市歯科医師会事業計画案

- 厚生委員会
1. 第27回熊本市歯科医師会親睦大会の開催
 2. 平成16年熊本市歯科医師会新年懇親パーティー開催
 3. 入院入所者歯科診療の集計
 4. 会員、家族の健康診断
- 公衆衛生委員会
1. 歯の衛生週間行事
 - ①歯の祭典(上通りイベント)
 - ②親子のよい歯のコンクール
 - ③全会員による歯科無料健診
 - ④子ども文化会館での無料健診(よい歯のピエロショー)
 2. シティエフエム出務
 3. かみかみメニューコンクール出務
 4. いきいき未来の集い出務
 5. 三歯会出務
 6. 熊本市立幼稚園フッ素塗布(年2回)
 7. 熊本市民健康フェスティバル出務(同時に8020表彰)
 8. 健康教室講座講演出務
 9. 全会員による「歯たちの健診」(各診療所)
 10. 天草パールラインマラソン出務
 11. 熊本市子ども文化会館での無料健診(年4回程度)
- 学術委員会
1. 学術講演会1回
 2. 会員からのQ&A作成
 3. 日歯生涯研修DVD配布
 4. 本会ホームページ内容充実
- 社保委員会
1. 県社委員会との緊密なる連絡、協議
 2. 社保関連諸会議、研修会への出務と協力
 3. 保険診療、請求事務に対する研究と対応
 4. 診療報酬改正に対する素早い対応
 5. 保険診療に関する説明会、講習会の開催
 6. 県歯及び県社会保険事務局主催の保険集団指導への対応
 7. 保険者の苦情、質問等への対応
 8. 介護保険に関する指導と対応
 9. 会員へのカルテ記載等の個別相談
 10. レセプト返戻分に対しての質疑応答
- 学校歯科委員会
1. 熊本市学校保健会歯科部としての活動並びに協力参加
 2. 熊本市立保育所、幼稚園、小学校、中学校の園医、校医の推薦
 3. 熊本県学校保健研究協議大会への参加
 4. 九州地区学校保健研究協議会への参加
 5. 歯の衛生週間の期間、ビデオ・スライドの貸出

6. 熊本市立幼稚園及び小学校での歯磨き巡回指導
7. 熊本市民健康フェスティバルへの出務
8. 熊本小児保健研究会、熊本市エイズ総合対策推進会議出務
9. 学校歯科医の研修
10. 子ども文化会館での無料健診

医療管理委員会 1. スタッフ研修セミナー

- ・スタッフレベルアップセミナー（講義・実習）
- ・スタッフ対象講演会

2. 三歯会座談会
3. 救急蘇生法講習会（国立熊本病院と共催）
4. 税務申告説明会
5. 平成16年度税務カレンダーの作成
6. 放射線漏洩測定器の貸出管理
7. 労務・歯科医療経営研修会
8. 後方支援病院への対応
9. 代診制度協議会及び対応
10. その他
 - ①熊本市市役所職員、家族歯科健診の対応
 - ②国立熊本病院開放型病院への対応及び医療連携の検討
 - ③青色申告会への対応
 - ④院内掲示ポスター類の更新及び新製

広報委員会

1. 「中岳」年4回（6、9、12、3月）発刊予定
2. 「かわら版」年12回各月発行予定
3. 市歯案内しおり作成

－国立熊本病院口腔外科からのお知らせ－

平成15年5月より



障害者歯科治療を始めました。

今回、かねてより歯科医師会からの要望を受けておりました障害者歯科治療に、平成15年5月より本格的に取り組むことになりました。

障害者歯科治療の障害者とは一般に言われている障害者の意味ではなく、著しく歯科治療を困難にする障害者のことで、有病者歯科医療と重なる部分があります。著しく歯科治療が困難な障害者とは、①脳性麻痺や重度のパーキンソン病などで、身体の不随運動や緊張が強く、体幹の安定が得られない状態②知的発達障害や老人性痴呆、精神障害者、交通事故などによる器質的人格障害などにより開口保持が出来な

い状態や、治療目的が理解できず治療に協力が得られない状態③重症の喘息患者で頻繁に治療の中断が必要な状態などとされています。

現在、熊本での障害者収容施設の歯科室、熊本市民病院歯科などで行われておりますが、地域社会における当科での障害者歯科治療の役目は総合病院の特性を生かした重度心身障害者の治療が主体となり、病診連携の一環に組み込まれることになると思います。全く治療の協力が得られない重度心身障害者の治療は、麻酔科の協力を得て、全身麻酔下での治療となります。全身麻酔で治療を行うには2～3日の入院が必要で、専用の病棟の用意を考えています。また、精神障害者や老人性痴呆の患者では精神科病棟の入院になる場合があります。御紹介をお待ちします。

（くまびょうNEWS No.71より）

第4号議案

平成15年度熊本市歯科医師会一般会計予算(案)

〈収入の部〉

款	項	目	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
1				会費入会金収入	40,322,000	40,046,000	276,000					
	1			均等割	21,042,000	21,006,000	36,000					月6,000円
	2			保険診療負担金	11,280,000	11,040,000	240,000					保険診療収入の1,000分の1
	3			入会金	8,000,000	8,000,000						
2				過年度会費	50,000	50,000						前年度未納者
3				事業収入	26,978,000	27,288,000				310,000		
	1			委託料	26,700,000	27,000,000				300,000		
		1		長寿の里委託料	24,000,000	24,000,000						
		2		在宅健診委託料	2,700,000	3,000,000				300,000		
	2			健診料収入	238,000	238,000						熊本市職員家族歯科健診 フッ素塗布料金
	3			入院入所者事業収入	40,000	50,000				10,000		機械使用料
4				県歯より事業助成金	3,000,000	6,500,000				3,500,000		
5				雑収入	590,000	530,000	60,000					
	1			預金利子	90,000	330,000				240,000		
	2			雑入	500,000	200,000	300,000					依頼印、入歯手帳代、 企業健診手数料
6				前年度繰越金	15,000,000	9,000,000	6,000,000					
7				借入金	1,000	1,000						
				計	85,941,000	83,415,000	2,526,000					

〈支出の部〉

款	項	目	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
1				事業費	46,087,000	41,961,000	4,126,000					
	1			委員会支出	14,229,000	13,463,000	766,000					
		1		学術委員会費	1,482,000	1,364,000	118,000					
		2		公衆衛生委員会費	1,704,000	2,420,000				716,000		
		3		社会保険委員会費	1,460,000	926,000	534,000					
		4		医療管理委員会費	1,411,000	1,305,000	106,000					
		5		広報委員会費	2,940,000	2,730,000	210,000					
		6		厚生委員会費	2,820,000	2,658,000	162,000					
		7		学校歯科委員会費	1,472,000	1,220,000	252,000					
		8		各種委員会費	940,000	840,000	100,000					資格審議会 臨時委員会
2				医政費	2,280,000	2,220,000	60,000					
3				衛生週間事業費	3,500,000		3,500,000					
4				長寿の里支出	23,240,000	23,140,000	100,000					
		1		人件費	16,100,000	16,000,000	100,000					職員3名分(Dr1名、Dr2名)会議費
		2		薬品費	400,000	400,000						
		3		歯科技工料	2,500,000	2,500,000						
		4		診療材料費	1,400,000	1,400,000						
		5		事務用品費	500,000	500,000						
		6		事務費	2,340,000	2,340,000						レセプト請求事務代 他

款	項	目	科	目	予	算	額	前年度予算額	増	減	備	考
	5			在宅健診支出	2,700,000	3,000,000				300,000		
		1		健診料	800,000	1,000,000				200,000		協力医への健診料
		2		衛生士費	1,260,000	1,260,000						
		3		備品管理費	120,000	150,000				30,000		
		4		消耗品費	110,000	140,000				30,000		
		5		通信費	160,000	200,000				40,000		
		6		管理運営費	250,000	250,000						
	6			健診事業支出	60,000	60,000						1人3,000円
		1		健診料	60,000	60,000						
	7			入院入所者事業支出	78,000	78,000						
		1		薬品費	8,000	8,000						
		2		補修管理費	70,000	70,000						
2				管理費	25,208,540	23,754,956	1,453,584					
	1			渉外費	870,000	840,000	30,000					香典料 御樽代等
	2			役員報酬	5,052,540	4,420,956	631,584					役員14名分
	3			職員給料	5,660,000	5,523,000	137,000					職員3名分
	4			職員諸手当	3,005,000	2,950,000	55,000					職員2名分
	5			厚生費	1,600,000	1,500,000	100,000					事業主保険料等
	6			旅費	1,300,000	1,200,000	100,000					九州八市役員協議会 交通費
	7			需用費	2,400,000	2,400,000						郵送費 TEL FAX料他
	8			事務所費	1,056,000	1,056,000						借室料 水道光熱費
	9			備品費	150,000	150,000						
	10			委託費	900,000	900,000						税理士顧問料 コンピュータ管理費
	11			使用料及び賃借料	1,100,000	600,000	500,000					コンピュータリース料
	12			租税公課	900,000	1,000,000				100,000		法人税 消費税
	13			雑費	1,215,000	1,215,000						封筒印刷 議事録作成費他
3				会議費	2,048,000	1,800,000	248,000					常務会 代議員会 対外会議費他
4				支部分担金	993,000	990,000	3,000					会員1人3,000円
5				補助金等支出	300,000	250,000	50,000					
	1			県歯科衛生士会補助金	100,000	100,000						
	2			市歯科衛生士会補助金	100,000	100,000						
	3			市歯科技工士会補助金	100,000	50,000	50,000					
6				繰入金支出	8,724,000	11,224,000				2,500,000		
	1			退職積立金支出	1,224,000	1,224,000						
		1		役員退職金支出	504,000	504,000						役員14名分
		2		職員退職金支出	360,000	360,000						職員2名分
		3		長寿の里退職金支出	360,000	360,000						職員3名分
	2			基本財産繰入金	7,500,000	10,000,000				2,500,000		
7				予備費	2,579,460	3,434,044				854,584		自動車保険他
8				借入金返済	1,000	1,000						
				計	85,941,000	83,415,000	2,526,000					

第5号議案

平成15年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算(案)

〈収入の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		雑 収 入	60,000	60,000			ガイドブック印税その他
2		前年度繰越金	370,000	350,000	20,000		
合 計			430,000	410,000	20,000		

〈支出の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		寄 付 金	220,000	200,000	20,000		
2		利 益 金	20,000	20,000			
3		雑 費	160,000	160,000			
4		租 税 公 課	30,000	30,000			消費税
合 計			430,000	410,000	20,000		

第6号議案

平成15年度熊本市歯科医師共済会計予算(案)

〈収入の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		互 助 費	3,900,000	4,040,000		140,000	
	1	初 回 金	300,000	400,000		100,000	1人50,000円
	2	負 担 金	3,600,000	3,640,000		40,000	月1,000円
2		雑 収 入	100,000	200,000		100,000	
3		前年度繰越金	9,500,000	9,000,000	500,000		
合 計			13,500,000	13,240,000	260,000		

〈支出の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		給 付	5,300,000	5,300,000			
	1	傷病見舞金	700,000	700,000			1人20,000円
	2	弔 慰 金	3,000,000	3,000,000			会員、家族
	3	災害・見舞給付	1,200,000	1,000,000	200,000		
	4	生前給付	400,000	600,000		200,000	2名分
2		供 花 費	230,000	230,000			生花、花環代
3		事 務 費	20,000	20,000			
	1	通 信 費	10,000	10,000			傷病見舞金送料
	2	雑 費	10,000	10,000			
4		予 備 費	7,950,000	7,690,000	260,000		
		計	13,500,000	13,240,000	260,000		

第7号議案

平成15年度熊本市歯科医師会役職員退職積立金会計予算(案)

(役員)

〈収入の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		役員退職積立金	504,000	504,000			14名分
2		前年度繰越金	1,050,000	546,000	504,000		
合 計			1,554,000	1,050,000	504,000		

〈支出の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		役員退職金	0	1,512,000		1,512,000	
2		次期繰越金	546,000	42,000	504,000		
合 計			546,000	1,554,000		1,008,000	

(職員)

〈収入の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		職員退職積立金	360,000	360,000			2名分
2		長寿の里積立金	360,000	360,000			3名分
3		預金利子	7,000	7,000			
4		前年度繰越金	6,265,022	5,538,375	726,647		
合 計			6,992,022	6,265,375	726,647		

〈支出の部〉

款	項	科 目	予 算 額	前年度予算額	増	減	備 考
1		職員退職金	0	0			
2		長寿の里退職金	0	0			
3		次期繰越金	6,992,022	6,265,375	726,647		
合 計			6,992,022	6,265,375	726,647		

第8号議案

平成15年度会費及び負担金の賦課徴収方法について

科 目		年賦課額・賦課率	賦課方法	徴 収 方 法
会 費	均等割 (一般)	72,000	12回	毎月 (各6,000円)
	(終身)	4,000	4回	4.5.6.7月 (各1,000円)
	(親子)	36,000	12回	毎月 (各3,000円)
	(勤務)	72,000	12回	毎月 (各6,000円)
	(特別)	70,000	1回	4月
	矯正専門医、保険診療をしない一般会員	100,000	10回	4~1月 (各10,000円)
	所得割	1/1,000	12回	毎月 (社保、国保診療報酬)
入 会 金	一般会員	1,500,000	1回 分割	入 会 時 初 回 金 300,000円 翌月より 100,000円(12回)分割
	親子会員	1,000,000	1回 分割	入 会 時 初 回 金 40,000円 翌月より 30,000円(32回)分割
	勤務会員	2,000,000	1回 分割	入 会 時 初 回 金 300,000円 翌月より 1年間(12回)分割
	特別会員	1,500,000	1回	入 会 時
共 済 会 費	初回金	50,000	1回	入 会 時
	負担金(一般、親子、勤務)	12,000	12回	毎月 (各1,000円)
	(終身)	2,000	死亡された月	死亡された都度(4人を限度)

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
3月15日	臨時理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
3月18日	171回理事会(同 上)
4月16日	172回理事会(同 上)

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
2月19日	国立熊本病院開放型病院連絡会(歯科11名参加) 平成15年度税務カレンダーのチェック
2月22日	「就業規則」集について 就業規則校正 村田社労士と最終打合せ 特に変形労働制について
3月 4日	就業規則校正 税務カレンダー校正
3月20日	就業規則発送準備 市役所職員・家族歯科健診集計
4月10日	平成14年度反省 平成15年度事業計画案について スタッフレベルアップセミナー[6月14日(土)]

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
2月19日	外科手術関連の診療録2面以降の記載の検討 個別指導の現場からの検討
3月19日	DⅠ・DⅡの算定方法について 外科手術時のカルテ記載について(術本)
4月 9日	社保委員会年間計画について 医療機関における国保被保険者資格証明書の取扱いについて

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
2月12日	中岳120号編集会議 定款校正
2月26日	中岳120号第1回校正 かわら版3月号編集
3月 5日	中岳120号第2回校正 かわら版3月号校正 定款校正
3月12日	中岳120号第3回校正
3月25日	かわら版4月号編集

公衆衛生委員会

月 日	協 議 題
2月19日	パールラインマラソンについて
4月11日	平成15年度親子のよい歯のコンクールについて 親子のよい歯のコンクール担当振り分け 上通り歯科健診について

厚生委員会

月 日	協 議 題
2月14日	入院入所者年間集計
3月20日	新年パーティーの反省会
4月18日	入院入所者年間集計 次期委員会への引き継ぎ事項について 厚生委員会の概要 ビアパーティーについて 口腔保健センター出務の割当てについて

学校歯科委員会

月 日	協 議 題
2月15日	第46回熊本小児保健研究会出務報告 第14回熊本市エイズ総合対策推進会議報告 シティFM出演予定
3月20日	平成14年度歯磨き巡回指導の計画について 委員会3年間の反省

学術委員会

月 日	協 議 題
2月20日	熊本市歯科医師会ホームページ更新作業について 学術Q&Aについて
3月18日	熊本市歯科医師会ホームページ更新作業 中岳勉強部屋 今期のまとめ

受診促進向上臨時委員会

月 日	協 議 題
3月19日	受診促進向上臨時委員会 第2回～第4回までの原稿まとめ

編 集 後 記

小泉首相が5月下旬の国会答弁であまりにふざけたことをほざいていたので頭にきた。「消費税率8%とか10%、はては15%という構想があるが」という野党議員の質問に対する答弁である。「私が在任中はそんなことはない。私が止めた後はどうなるか知らないが」ふざけてもらっちゃ困る！ 国家百年の計を建て得ない人間が、いつまでも一国の長に居座りつづけるなんて。現在の不況も政策不況といわれるゆえんであろう。

何はともあれ、新メンバーによる初めての「中岳」が完成した。より一層親しまれる誌面作りを目指して委員一同努力したい。投稿もどしどしお願いしたい。

(T・F)

熊本市歯科医師会会誌

第 121 号

発行日 平成15年 6 月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井 2 丁目 3 番 6 号

TEL (3 4 3) 6 6 6 9

FAX (3 4 4) 9 7 7 8

発 行
責任者 古 賀 明

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本 2 丁目1-30

TEL 096-356-6433 FAX 096-311-1388